

# PAタグを用いた複合的構造解析toolboxの提供

## [技術の概要]

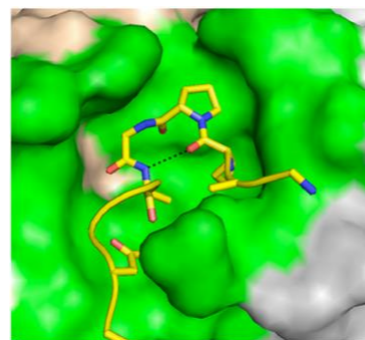
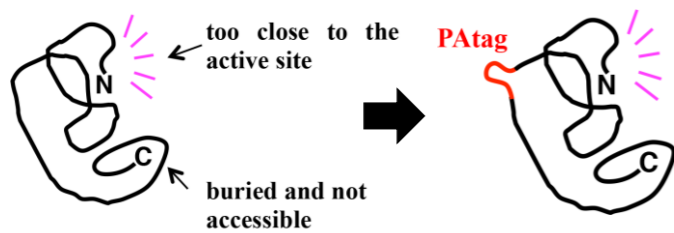
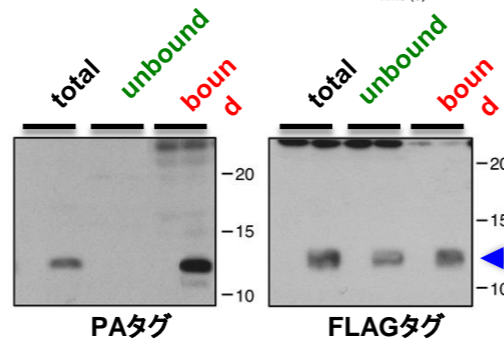
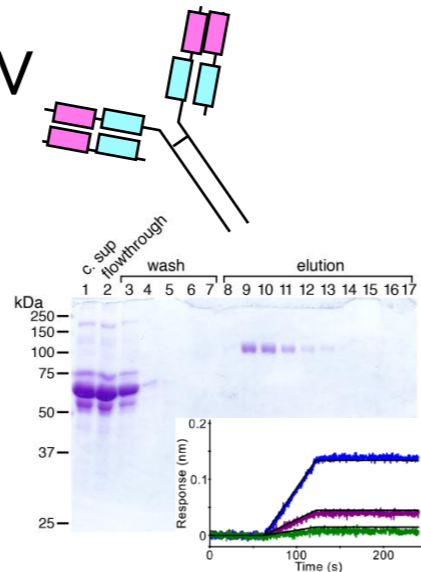
“PAタグ” = GVAMPGAEDDVV

超高親和性抗体NZ-1により認識

1. 超高親和性でペプチド溶出、しかも何回でも再生可能。  
⇒微量タンパク質の迅速一段階精製。しかも経済的。

2. 抗体レジン市販のどのシステムよりも高効率でキャプチャー可能。  
⇒プロテオミクス研究に威力。

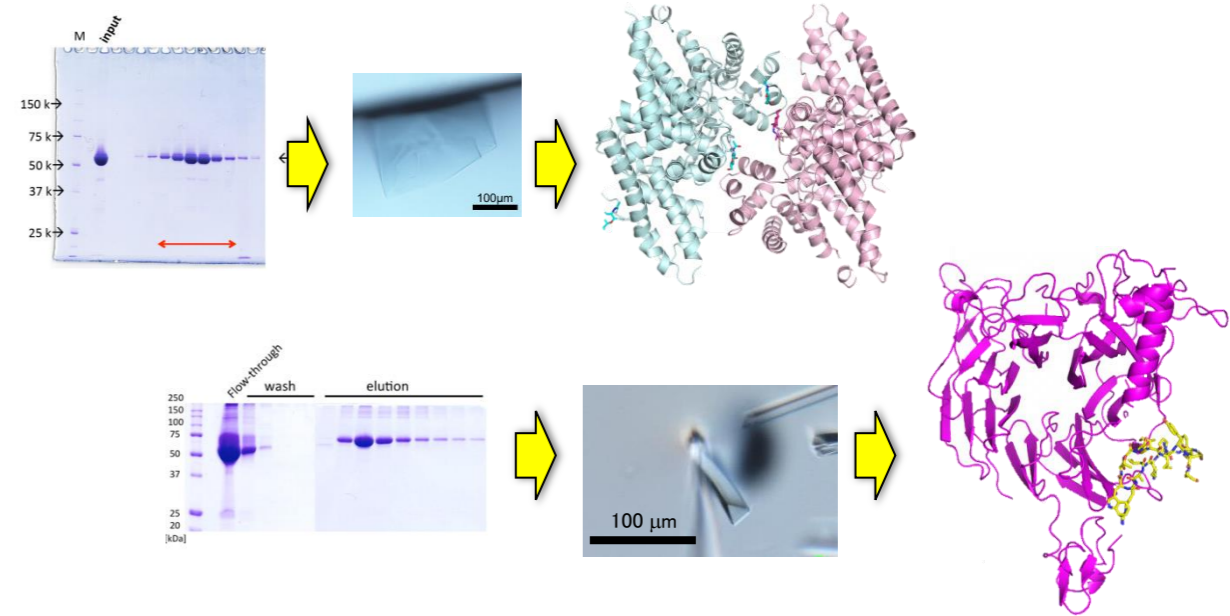
3. N、C末端だけでなく、どこにでも挿入可能  
⇒“portable epitope”としてイメージング、結晶化などの用途に。



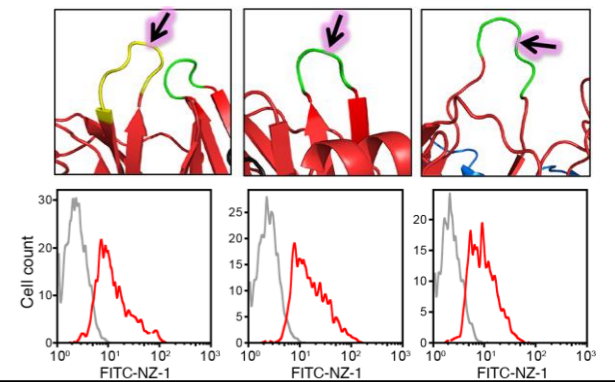
☆チャレンジングなアプリケーションの提案  
に対しタグシステムを供与

## [技術の利用例]

すでに多くの創薬ターゲットの迅速精製と結晶化に成功。



受容体の望みの部位の  
ループへ挿入し、構造変化  
レポーターとして利用。



## 連絡先

[所属] 大阪大学蛋白質研究所

[名前] 高木淳一

[E-mail] takagi@protein.osaka-u.ac.jp